水戸黄門まつり 魅どころ紹介

水戸偕楽園花火大会

全国の花火大会で内閣総理大臣賞を20回受賞している「野村花火工業」の4代目・野村陽一さんは、日本を代表する水戸市出身の花火師です。

水戸偕楽園花火大会では、国内最高峰の花火約5,000発を、湖畔の近距離で観覧できます。

特に、フィナーレを飾る「超ワイド特大ミュージックスターマイン」は、迫力ある花火と音楽のシンクロが必見です。

野村花火工業　代表取締役
野村　陽一さん

鮮やかに仕上げた青や緑の特選玉に、夜空だけではなく千波湖に映る「逆さ花火」など、水戸でしか見られない花火を多くの人に楽しんでもらいたいです。

本祭

山車巡行・叩き合い

まつり囃子で盛り上げながら巡行します。6日に行う叩き合いは圧巻の光景です。

日時／8月5日、午前10時～午後9時
8月6日、午前10時～午後8時

水戸黄門カーニバル

市内の企業やダンスサークルなど、全34チームが一斉に、趣向を凝らした衣装やダンスで競い合います。

日時／8月5日、午後5時～7時

神輿連合渡御

水戸市内の神輿6基が集い、まちなかを勇壮に練り歩きます。

日時／8月5日、午後7時30分～9時

水戸黄門提灯行列

「水府提灯」と呼ばれ、岐阜や八女（福岡県）と並び日本三大産地の一つとして知られてきた水戸の提灯。伝統と革新を表現した提灯行列をお楽しみください。

日時／8月5日、午後8時～9時

水戸ふるさとみこし渡御

日本最大級の市民みこし「水戸ふるさとみこし」が、初披露から4年ぶりに、約500人で渡御します。

日時／8月6日、午後3時30分～6時

イメージソング「いざ水戸黄門まつり！」が盛り上げます

水戸市出身で、水戸大使を務める「和楽器バンド」のボーカル、鈴華ゆう子さんが制作したイメージソング「いざ水戸黄門まつり！」がまつりを盛り上げます。

特に、8月5日、1日目の締めくくりとして、水戸黄門提灯行列、山車、神輿が南町3丁目交差点で一堂に会し、この楽曲で一斉に盛り上がる「クライマックス いざ水戸黄門まつり！」は必見です。　※右の二次元コードから視聴できます。

和楽器バンド　鈴華ゆう子さん

特集

第63回 水戸黄門まつり

2019年「第59回 水戸黄門まつり」本祭の様子

水戸偕楽園花火大会

日時　7月29日（土）、午後7時30分～8時30分
※荒天時は、30日（日）に順延。

会場　千波湖

本祭

日時　8月5日（土）、午前10時～午後9時
8月6日（日）、午前10時～午後8時
※荒天中止。

会場　国道50号（水戸駅北口～大工町交差点）

花火大会と本祭の詳細について▶

花火大会の有料観覧席について▶

水戸の夏の風物詩である「水戸黄門まつり」。2019年に、より多くの方に楽しんでもらうため、「魅せるまつり」としてリニューアルしました。

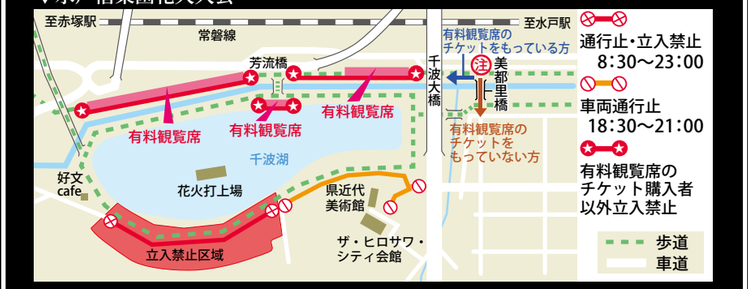
しかし、新型コロナ感染拡大の影響で、2020年・21年は中止し、オンラインでRemote水戸黄門まつりを開催。2022年は時期や会場を変更して開催しました。

そして、再び「魅せるまつり」として開催する「水戸黄門まつり」。この特集では、その「魅どころ」を紹介します。

問／水戸観光コンベンション協会（☎224・0441）
または市観光課（☎232・9189）

通行止・立入禁止の区間にご注意ください

▼水戸偕楽園花火大会



▼本祭